スクスム!クマガヤ

みんなでつくろう!

新市民体育館・新荒川公園

ワークショップ



日時｜2026年3月28日（土）14:00~17:00
場所｜男女共同参画推進センター「ハートピア」
会議室

※記録のため写真撮影を行います。NGの方はお近くのスタッフまでご連絡ください



開会あいさつ
・本日の進め方

本日の進め方

日時｜2026年3月28日（土）14:00～17:00
場所｜男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室

１　開会あいさつ・本日の進め方
２　第2回の振り返り・検討状況説明
・第2回のワークショップの振り返り
・検討状況説明（前回の質問回答等）
・事例紹介・追加意見収集の報告
３　グループワーク
４　発表・まとめ
５　事務連絡・閉会

ワークショップ開催の趣旨

熊谷市では、熊谷市立市民体育館や、隣接する荒川公園等を再整備するにあたり、整備の目的、求められる機能、整備計画の条件等を整理し、基本計画としてとりまとめることとしています。

今年度から、より多くの市民の声を反映するためワークショップを全4回行います。

本日はその3回目となります。

ワークショップ４回の流れ

※ワークショップの内容は今後変更の可能性があります。

ワークショップは、2026年７月までに４回継続して実施します。各回、前半に「検討状況説明」として進捗共有を行い、後半のグループワークでご意見を伺う時間を設けます。各回でいただいたご意見をもとに、「基本計画素案」に生かします。

11/8 第1回 再整備のあり方の共有

１）現地確認

２）検討状況説明

・WS開催の目的
・検討プロセス
・施設の現況
・調査結果報告

３）グループワーク

現地を見て、良いところ・気になるところ・こうなったらいいなと思うことを出し合う

1/31 第２回 空間イメージの共有

１）検討状況説明

・第１回振り返り
・コンセプト案
・モデル比較検討案の提示

２）グループワーク

モデル比較検討案について感想・意見を出し合う

本日 第３回 空間イメージの共有

１）検討状況説明

・前回までの振り返り
・前回の質問回答
・事例紹介・追加意見収集報告

２）グループワーク

①第２回の意見をもとにまとめた価値に関する意見交換
②価値を踏まえてモデル比較検討案について意見交換

7/4 第４回 基本計画素案の共有

１）検討状況説明

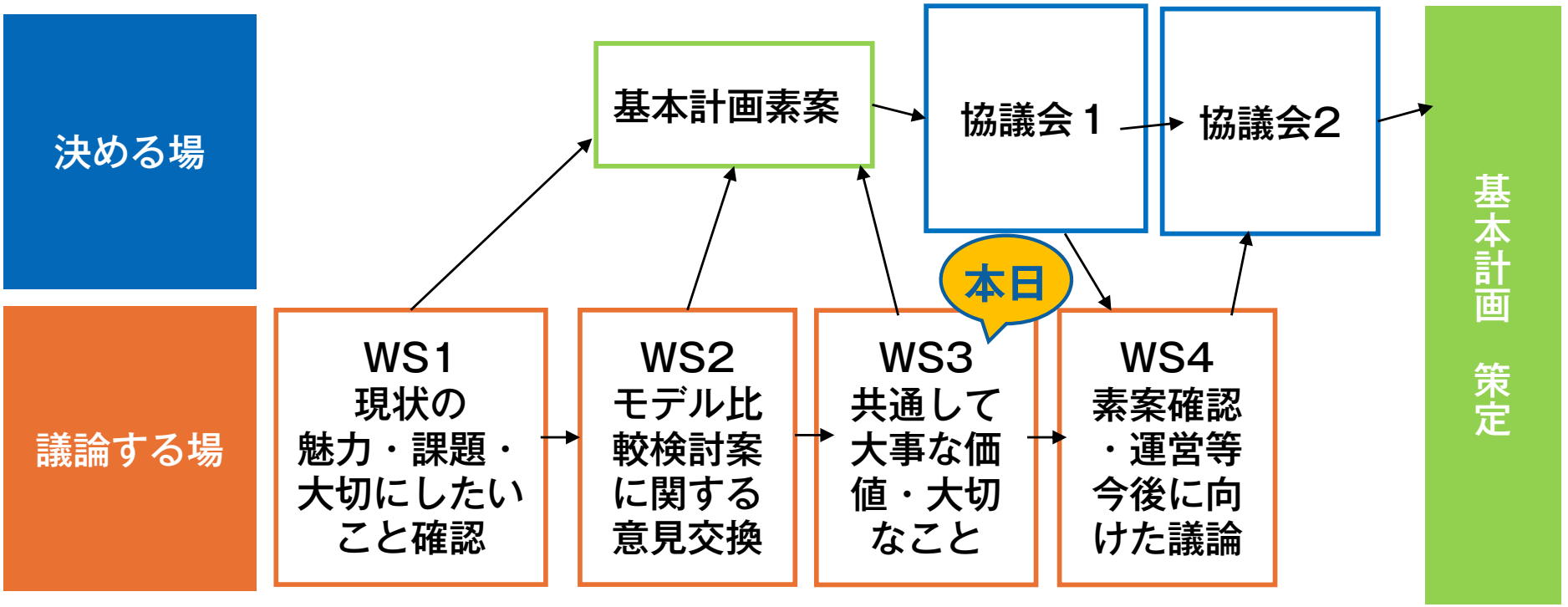
・モデルプラン、イメージ図など基本計画素案の説明

２）グループワーク

①１）を踏まえて確認したいこと、感想を出し合う
②新体育館・新荒川公園の「こうやって使いたい」を出し合い、空間イメージを共有
③今後の進め方や、再整備後のこのエリアへの関わり方について意見交換

基本計画策定までの意見反映の流れ

ワークショップでいただいたご意見をもとに、基本計画のコンセプトや目標等を検討します。第２回では、モデル比較検討案を議論の素材として、さまざまな論点が浮かび上がりました。本日のワークショップでは、改めて、今後の具体的な検討で共通して大事な「価値」や、大切なことを出し合います。ワークショップ１～３の意見をもとに「基本計画素案」を作成し、学識経験者や市内の多様な立場の団体で構成される協議会に諮ります。次回は協議会の内容を踏まえ、基本計画素案を確認し、今後に向けた議論を行います。その結果を協議会に報告し、基本計画を策定します。





第2回の振り返り
・検討状況説明

１）第2回の振り返り

第2回ワークショップの目的と位置付け

第2回ワークショップでは、アンケートや第1回ワークショップから導いたモデル比較検討案をご説明しました。グループワークではモデル比較検討をもとに「良いね」「気になる」を出し合い、今後の計画の方向性について意見交換しました。

概要	
日時	令和 8 年 1 月 31 日（土）14:00-17:00
場所	男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室
参加者数	41 名

第2回ワークショップの様子









第2回ワークショップでのご意見のまとめ

今後の計画の方向性について		
共通の価値	①将来を担う、熊谷市のこどものための場にしよう	■将来（40～50年後）のニーズを考えて、何が必要か考える ■人口減少も想定される中で熊谷市の財政にあったものを考えたい ■こどもが一流のスポーツに触れられる場になると良い ■こどもたちが使えるスケボーパークやボルダリングといったニュースポーツなどができるとよい ■新しいスポーツができるような広場や体育館になってほしい ■市民にとって使い勝手の良い施設であること ■何のため、誰のために体育館をつくるのか明確にする必要がある ■前回のパブコメや近隣住民など、市民の意見を大切に受け止めながら計画を検討してほしい ■新しい価値を提供する空間に
	②地域が一体になり、まちの資源や取組との相乗効果を生み出す場にしよう	■市内の他施設や計画、周辺エリアなど全体で考えたい ■かわまち、南口の活性化、緑地計画などの市内の他の計画とも連携して、広い視野で考える ■駅側から河川敷へ行く動線や施設へのアクセス動線など、まち全体の動線を考えた方が良い ■まちのなかの動線をしっかり検討し、混雑にならないアクセスを考えたり、まちのなかにある店舗や拠点と連携し、まち全体が盛り上がるような計画にしてほしい ■一体整備によって街の目玉になるような体育館になるとよい ■市が持っているDXの情報なども活用した計画を検討できると良さそう
	③自然災害、酷暑、防犯などの地域課題の解決につながる場にしよう	■避難所としてはどのように活用するのか ■排熱を考えて、風の通り道をつくってほしい ■避難施設としての位置付けを明確にしてほしい ■浸水対策も重要 ■浸水時に防災機能が高い拠点に ■防災の観点から、体育館は２階建てがよい

第2回ワークショップでのご意見のまとめ

モデル比較検討案への視点	施設配置やボリュームに関するご意見	■既存の敷地、景観を最大限に活かす ■公園はどの案でも今よりよくなりそう ■今の公園の敷地をできるだけ残したい ■公園の空間機能をなるべく維持しながら体育機能を高める ■体育館の計画は現敷地内で考えたい ■体育館はここで建て替える ■今の規模でも使いやすくて良い ■体育館は駐車場の広く取れる別の場所につくって公園として整備する
	建設費・維持管理費等に関するご意見	■コストと機能のバランスが必要 ■しっかり稼ぐことも考える ■長期的な目線で、元の案より管理費が少なくなるとよい ■予算はどこにあるのか、安く整備してほしい ■太田市のアリーナは成功事例として挙げられるが、企業が出資している
	駐車場に関するご意見	■駐車場は、平日など体育館の利用が少ない日もあるので、体育館用と決めず公園利用者も使えるようにする ■大型バスの来場を見越した駐車場や動線の設計が必要
	体育館の利用に関するご意見	■市民がいつも十分に使える体育館が良い ■プロスポーツを呼ぶよりも、市民が日常的に安く体を鍛えられる体育館がよい ■体育館の使い方として、夏にスポーツ大会ができるようになったり、練習場としても活用できると良い ■具体的に誰がどのくらいの頻度で利用するかなどどのような体育館にしたいか考えたい ■メイン・サブアリーナは1階にある方が使いやすく大会運営もしやすい ■ロンドンのサッカークラブは街中にあるが、そのようなイメージをもった ■プロスポーツ等を誘致する観点では元の案も良かった ■スポーツの大会等の開催を見据えて、使い勝手のよい設計だとよい
	観客席に関するご意見	■プロスポーツを呼べるような観客席数にしてほしい ■観客席の基準がわからないため事例を提示してほしい
	施設の利用継続に関するご意見	■代替場所を探すのは大変なので、工事期間中も体育館が使えることは重要 ■建設期間もスポーツの大会が継続して実施できるような進め方にしてほしい
	公園の利用に関するご意見	■盲導犬が安心してトイレを使える場所をつくる（芝生があるくらいで良い） ■SL展示を残すならもっと活かしてほしい

第2回ワークショップで出た意見のまとめ

各配置案への意見の傾向

各グループで議論された案への「良い点」と「気になる点」を案ごとに統合し、それぞれ要点をまとめました。

配置案	「いいね」と思われた点	「気になる」と思われた点
A｜体育館観客席充実 案 	・豊富な観客席数によりプロスポーツやコンサートなど大規模イベントに対応できる点に最も多くの期待が寄せられた ・機能面では、分棟配置により大会と市民利用を両立しやすい点や、メインアリーナを2階に置くことによる浸水対策への評価も高かった ・河川敷との連携や既存の並木・広場の維持など、周辺環境との調和を望む声も挙がった	・公園側への建物配置による圧迫感や風通しの悪化など、周辺環境への悪影響を心配する声が最も多かった ・メインアリーナが2階で分棟となる構造による大会運営や施設間移動の不便さ、災害拠点としての使いにくさも指摘された ・約140億円という建設費や維持管理コストの高さ、既存樹木の伐採に伴う公園オープンスペースの減少、工事期間中の利用停止に対する不安の声も多く寄せられた
B｜既存体育館利用継続案 	・「工事期間中も既存体育館を継続して利用できる点」が最も支持された。代替施設がない中で、日常の利用や大会を途切れさせずに整備できることが高く評価された ・約100億円という規模に対してコストが低い点や、メインアリーナが1階にあり運営しやすい点、大規模イベントに対応できる観客席数、入口付近の滞留空間の確保、公園との連携のしやすさといった面も好評だった	・公園のオープンスペースが最も縮小し、既存樹木の伐採が多い点にたくさんの不安が寄せられた ・公園側に大きな建物が配置されることで生じる圧迫感や、花火が見えなくなることを心配する声もあった ・機能面では、分棟配置による維持管理コストの増加や施設間移動の不便さのほか、メインアリーナが1階であることによる浸水時の防災面への懸念、サブアリーナの必要性を問う声などもあった
C｜公園スペース充実 案 	・公園のオープンスペースを最も広く確保し、既存樹木を多く保全できる点に最も多くの支持が集まった ・市民の「緑を守りたい」という意向や市の方針と合致している点が高評価だった ・メインアリーナが2階にあることによる浸水対策（防災面）や、施設集約による維持管理コストの抑制、分かりやすい動線や開放的な景観のほか、広場でのマルシェやカフェなどの活用にも期待が寄せられた	・メインアリーナが2階にある構造への不安が多数挙げられた。具体的には、大会運営や災害物資拠点としての使いにくさ、下階に駐車場を設けることによる建設コストの増加、建物の高さによる日照悪化や圧迫感などだった ・工事期間中に既存体育館が利用できなくなることへの強い不安や、大会利用と市民利用の両立の難しさ、1,300席という観客席の少なさ、駐車場不足なども指摘された
D｜コストを抑えた 案 	・「建設費と将来の維持管理費（ランニングコスト）を最も安く抑えられる点」に圧倒的な支持が集まった。将来の市民負担を考慮した際、コストの低さが明確なメリットとして評価された ・敷地がコンパクトにまとまりメインアリーナが1階にあることによる運営のしやすさや動線の分かりやすさ、既存樹木を多く保全できるなど、コストと景観・機能のバランスの良さも高く評価された	・公園入口付近への駐車場配置による景観の悪化や、オープンスペースの減少を懸念する多くの声があった ・歩行者と車の動線の交錯や排ガス問題への心配の声も上がった ・長期間の工事中に既存体育館が利用できなくなることへの強い不安、観客席の少なさ、アリーナや諸室が手狭にならないかといった機能面での心配、大会と市民利用の両立の難しさなども指摘された

２）検討状況説明

本日お伝えする内容

１．協議会で明らかにする再整備の論点の整理

２．周辺まちづくりの状況
-かわまちづくり
-熊谷駅南口まちづくり

1. 協議会で明らかにする再整備の論点の整理（再整備を進める上で解くべき課題）

市民の皆様のご意見
効率的・効果的な整備としたい

熊谷駅南口エリアの新たな「顔」をつくる
- かわまちづくりや駅南口まちづくりも見据えて、必要な機能を持った整備を行う

屋外/屋内一体整備の良さを発揮する
- 夏や雨天でも遊べる公園にしたい
- 体育館だけでなく屋外でもスポーツができるようにしたい（今のグラウンド利用の継承）

「する・ささえるスポーツ」の利用環境を高める
- 再整備中も現体育館の利用は継続したい
- 新体育館は駐車場は今より使いやすくしたい

「みるスポーツ」で南口に新たな価値を提供する
- プロスポーツや大会で新たなにぎわいが生まれる

まちの防災性向上に役立てる
- 浸水時の避難、帰宅困難者の受け入れなど防災の機能を高めたい

▸ 市民体育館に多様な機能を持たせると規模拡大＝コスト増
▸ 浸水対策でアリーナを2階にするとコスト増

▸ 分棟型体育館や駐車場増加で公園のオープンスペースが減少
▸ 現市民体育館を残したまま再整備を行うには現荒川公園の広場が使えなくなる

市民の皆様のご意見
コスト（将来の負担）を減らしたい

再整備は必要か？
- 少子高齢化・人口減少が進む中、体育館の利用は増えるのか（再整備ではなく改修でいいのではないか）

新体育館の適正な規模は？
- 観客席数やアリーナ面積など「みるスポーツ」に過大な規模を設定していないか

将来にわたってかかるコストは？
- 公園と体育館の整備コストと維持管理コストを縮減する工夫が必要である

- 再整備の論点 -

✓ **エリア価値を高める**
✓ **費用対効果を高める**
✓ **環境影響を抑える**

▸ 良好な公園環境の維持には植栽管理、施設維持、清掃などのメンテナンスや、安全確保・長寿命化のための定期的な補修費といった「コスト」が必要

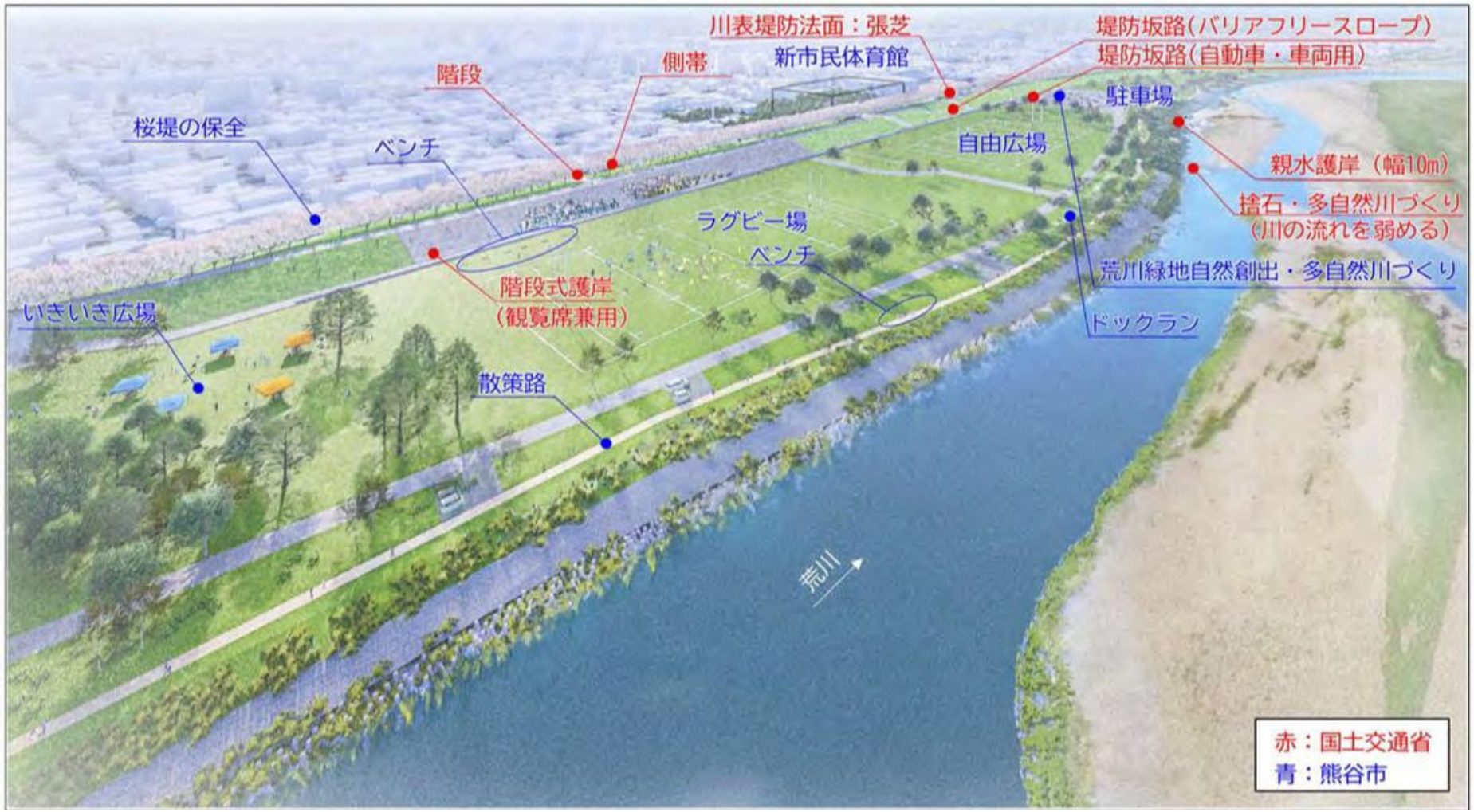
市民の皆様のご意見
良好な住環境を守りたい

現公園の緑や広場の良さが失われないか？
- オープンスペース（グラウンドや広場） を守ってほしい
- 既存樹木を守ってほしい
- 子どもの身近な遊び場を残してほしい

再整備により環境が悪化しないか？
- 大規模建築物で日照阻害、圧迫感、川からの風の道の障害などの環境悪化が心配
- プロの試合や大会時に騒音や交通渋滞が起きるのではないか

2．周辺まちづくりの状況 - かわまちづくり

熊谷市荒川かわまちづくりイメージ図



出典：熊谷市荒川かわまちづくり計画書
https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/kensetsu/kasen/kawamati/kawamachi_touroku.files/kumagaya_kawamachidukurikeikakusyo.pdf

2．周辺まちづくりの状況 - かわまちづくり

水辺利用（親水護岸、捨石）



出典：熊谷市荒川かわまちづくり計画書
https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/kensetsu/kasen/kawamati/kawamachi_touroku.files/kumagaya_kawamachidukurikeikakusyo.pdf

2．周辺まちづくりの状況 - かわまちづくり

水辺の散策路、休憩スペース



出典：熊谷市荒川かわまちづくり計画書
https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/kensetsu/kasen/kawamati/kawamachi_touroku.files/kumagaya_kawamachidukurikeikakusyo.pdf

2．周辺まちづくりの状況 - かわまちづくり

多自然川づくり、自然環境学習環境整備

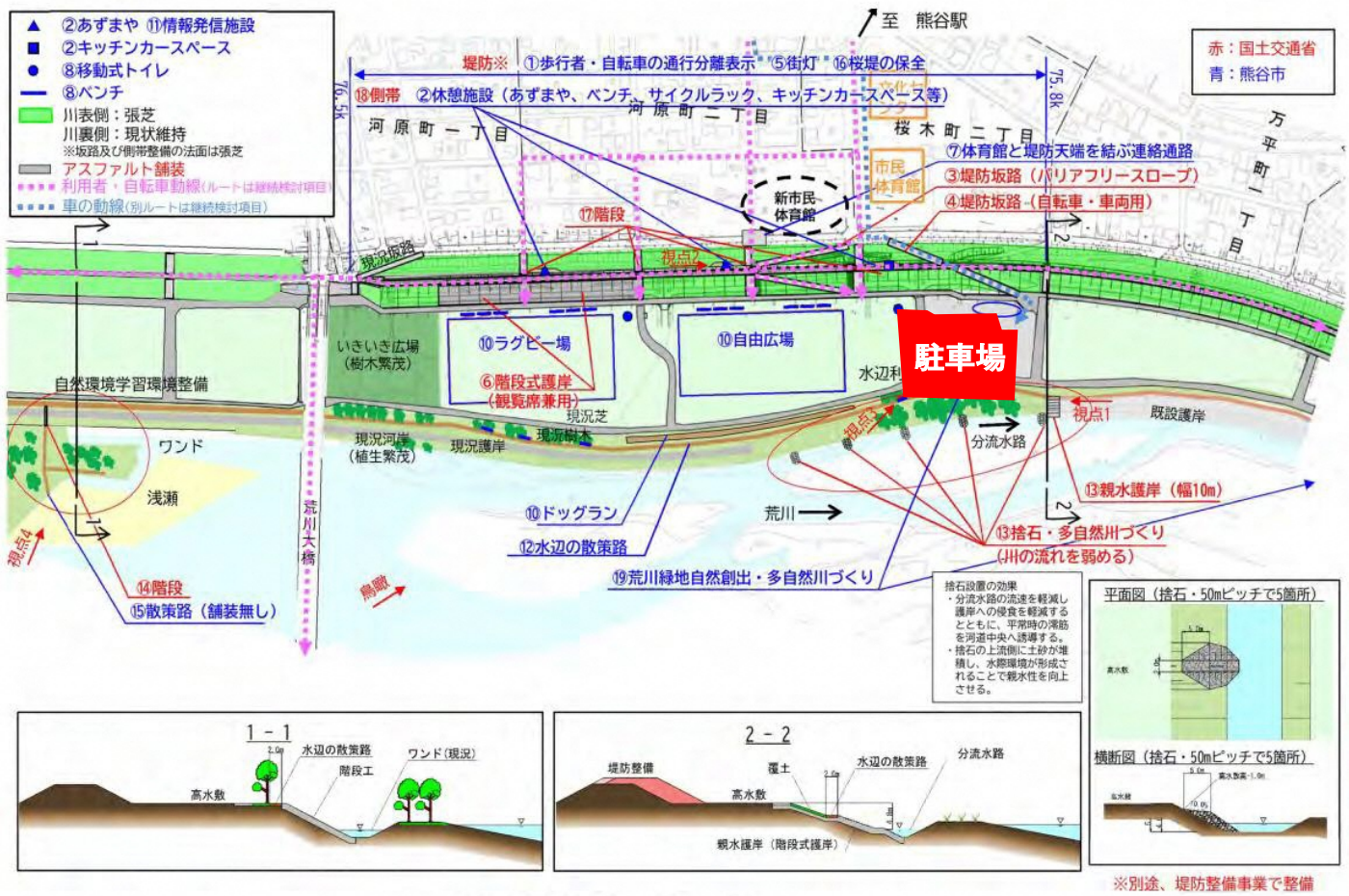


出典：熊谷市荒川かわまちづくり計画書
https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/kensetsu/kasen/kawamati/kawamachi_touroku.files/kumagaya_kawamachidukurikeikakusyo.pdf

2．周辺まちづくりの状況 - かわまちづくり

駐車場整備　平常時及び大会やイベント時に使用

体育館に隣接する熊谷荒川緑地に最大250台程度収容可能な駐車場を整備予定



出典：熊谷市荒川かわまちづくり計画書
https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/soshiki/kensetsu/kasen/kawamati/kawamachi_touroku.files/kumagaya_kawamachidukurikeikakusyo.pdf

2．周辺まちづくりの状況 - 熊谷駅南口エリア

■ 熊谷駅南口まちづくりワークショップで考えられた「駅南口エリアの将来像」

1班の考えた将来像

暑いけど快適 熱いから快適
多世代がつながる辻 みどり豊かなスポーツ・文化のまち南口

将来像に込める思い

「辻」ということばがポイントです！一般に、「辻」は道が交差する場所という意味で使われますが、駅南口は様々なものが交わるまちであってほしい、そんな思いを込めています。

たとえば、熊谷駅の「交通」結節機能であったり、荒川沿いの水・みどりの場、スポーツ・文化施設における人と人の「交流」など、たくさんの魅力が生み出す交わりがあると感じています。こうした要素を拾いつつ、頭には熊谷の人の熱さと活力・熱気を掛けたことばを添えて、将来の熊谷を表現してみました。



ポイントとなるキーワード等

- 人との交流
- スポーツ・文化活動
- 交通の利便性
- みどり
- 辻
- 熱気、活力
- 多世代

「辻」に思いがこもっているね！



©熊谷市



2．周辺まちづくりの状況 - 熊谷駅南口エリア

■ 熊谷駅南口まちづくりワークショップで考えられた「駅南口エリアの将来像」

2班の考えた将来像

人、まち、自然をつなぎ、みんなが暮らし、たのしむまちづくり

将来像に込める思い

カワマチとエキマチを繋ぐエキカワ軸が大事！そんなところから、話が盛り上がりました。カワマチでは「自然」や「スポーツ」、「文化」、エキマチでは、「働く」、「暮らす」、「人が集まる場所」などの特徴があります。そこで、エキカワ軸を活かして、人同士であったり、人とまち、人と自然などのように２つのエリアを結び、両エリアを楽しめるまちにすれば良いのではないか。こうした思いを込めて将来像を考えました。



ポイントとなるキーワード等

- 人が集まる場所
- 若者
- 働く
- 暮らす
- 自然
- スポーツ
- シンボル（桜、川、けやき、いちょう）
- 文化施設（体育館、図書館）
- エキマチ、カワマチ、エキカワ軸



2．周辺まちづくりの状況 - 熊谷駅南口エリア

■ 熊谷駅南口まちづくりワークショップで考えられた「駅南口エリアの将来像」

3班の考えた将来像

心惹かれるCITY（community,ice,tree,young）

将来像に込める思い

3班では、「駅南口エリアの将来はこうあってほしい！」という思いから多くの意見が出ました。話をまとめる中で、共同体（community）、涼しい（ice）、自然（tree）、若い（young）が南口エリアの将来に求められることではないかとなり、これらの英語の頭文字を組み合わせ「CITY」とまとめました。また、南口エリアを、知らず知らずのうちに好きになり、愛着をもってほしいという思いを込め「心惹かれる」を加え「**心惹かれるCITY**」としました。



ポイントとなるキーワード等

- 「心」
- 交流
- 安心、安全
- 風
- 安らぐ場所
- 四季を感じられる
- 自然（花、ケヤキ、サクラ）、水、空気
- 子育てしやすい
- 若者が先導する

キャッチコピー的な提案もあったよ！



©熊谷市



2．周辺まちづくりの状況 - 熊谷駅南口エリア

■ 熊谷駅南口まちづくりワークショップで考えられた「駅南口エリアの将来像」

4班の考えた将来像

安心・安全・笑顔・多世代が集う実現可能な南口のために強みを大切にし、弱点（弱み）を克服していくまち

将来像に込める思い

4班では、人に来てもらうなら、自分たちが住むならという視点から、「安心・安全・笑顔・多世代が集う」を筆頭に話が広がりました！これを達成するために、南口エリアの、「自然（花、緑、水）」、「文化」、「スポーツ」と触れ合える強みを活かすこと、「暑さ」、「交通の便」の弱みをを克服していくことが重要となりました。こうした思いをわかりやすく将来像に込めました！「交通の便」の弱みに関してはもっと利便性を高めたいという思いを込めています。



ポイントとなるキーワード等

- 安心・安全・笑顔
- 多世代
- 実現可能性
- スパイラルアップ
- 自然（花・緑、水）
- 文化
- スポーツ
- にぎわい
- 暑さ
- 再整備
- 交通の便



３）事例紹介

他都市に学ぶ「体育館x公園」の新しいかたち

「スポーツをする時だけ行く場所」から
「毎日行きたくなる場所」へ

3つの異なる事例から、熊谷の
「新体育館・新公園」のあり方を
イメージしてみよう！

大牟田市
「おおむた
アリーナ」
福岡県
2024年

茨木市
「おにクル」
大阪府
2023年

袋井市
「さわやかア
リーナ 袋井市
総合体育館」
静岡県
2020年

大牟田市総合体育館（おおむたアリーナ）

熊谷での参考ポイント：施設の周りに公園の延長として使える「縁側」のような場所ができるとしたら？

テーマ：公園の景観を活かし、緑とアクティビティが溶け込む

特徴：大きなテラスを配置し、公園を眺めながら休憩できる。ガラス張りの外観で、外の散歩道から中のスポーツ活動が見える「開かれた」アリーナ。





写真：大牟田市サイト（https://www.city.omuta.lg.jp/list01228.html）より引用

所在地	大牟田市宝坂町二丁目92番地
開館	令和6（2024）年
構造	鉄骨造 2階建て
延床面積	約10, 000㎡

基本コンセプト

「スポーツや運動を通じてひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」

主な諸室・設備

アリーナ（約1713m2）、多目的ホール（約1284m2）、会議室1～9、相談室、柔道場、剣道場1～2、、キッズルーム、トレーニング室、談話コーナー、卓球室、アリーナ観客席1524名（仮設席最大1500名）、器具庫、多目的ホール観客席226名、防災備蓄庫

茨木市文化・子育て複合施設 おにクル

熊谷での参考ポイント：施設の屋根やテラスを、公園の一部として遊べる場所にできないか？

テーマ：建物全体が「立体的な公園」。空間の境界をなくす
特徴：建物全体にCASCADE（滝）のようなテラスやベランダがあり、風や緑を感じる「外（公園）のような中」を実現。図書館、ホール、子育て支援など、異なる機能がテラスや外階段を通じて立体的に繋がっている



所在地	大阪府茨木市駅前三丁目9番45号
開館	令和4（2023）年
構造	鉄骨コンクリート造（一部鉄骨造）
延床面積	19,715.22平米

主な機能（施設）
市民活動センター、コワーキングスペース、市民交流スペース、きたしんプラネタリウム、屋上広場、交流ホワイエ、会議室、和室、図書館、ゴウダホール、こども支援センター、多目的室、カフェなど

写真：公式サイト（https://www.onikuru.jp/）より引用

さわやかアリーナ袋井市総合体育館

熊谷での参考ポイント：体育館に「雨の日も遊べる場所」を作ることで、公園と体育館を掛け合わせた使い方ができる？

テーマ：体育館×子育て。「屋内遊び場」で1日過ごせる場所へ
特徴：屋内こどもの遊び場を体育館に併設。
屋外の芝生広場や大型遊具と隣接し、雨天時も晴天時も親子が1日過ごせる空間。











写真：公式サイト（https://fukuroi-arena.com/）より引用

所在地	静岡県袋井市久能1912-1
開館	2020年
構造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造
延床面積	7,768.51㎡（付帯施設含む）

特徴・コンセプト：
してみよう、見てみよう、支えてみよう”の意欲喚起する市民の体育館

主な機能：
メインアリーナ、サブアリーナ、屋内ジョギングコース、トレーニング室、多目的室（研修室）、会議室、キッズルーム、健康・体力相談室、ラウンジ、更衣室、防災備蓄庫など

４）追加意見収集の報告

WS意見を踏まえた追加意見収集の報告

若い世代の意見収集が必要という声を受け、追加で意見収集の機会を３回設けました。将来の荒川公園、市民体育館でどう過ごしたいか、９つの過ごし方に投票をしてもらったり、自由に意見を書いてもらいました。
また、中学生ボランティア説明会にてアンケートを配布し回答いただきました。

実施日	2026/2/14	2026/2/21	2026/2～3月
場所	熊谷スポーツ文化公園（ラグビーリーグワン埼玉ワイルドナイツ戦）	熊谷駅商業施設（ニットーモール）	さくらマラソン大会 中学生ボランティア説明会
回答者数	（1人につきシール枚数1～3枚貼ったため正確な人数は不明） シールの枚数は947枚	26名	57名 （内訳） 荒川中学校12名 三尻中学校21名 大麻生中学校12名 富士見中学校8名 玉井中学校4名
形式	オープンワークショップ	オープンワークショップ	アンケート用紙

当日の様子

2026/2/14ラグビーリーグワン埼玉ワイルドナイツ戦





2026/2/21ニットーモール

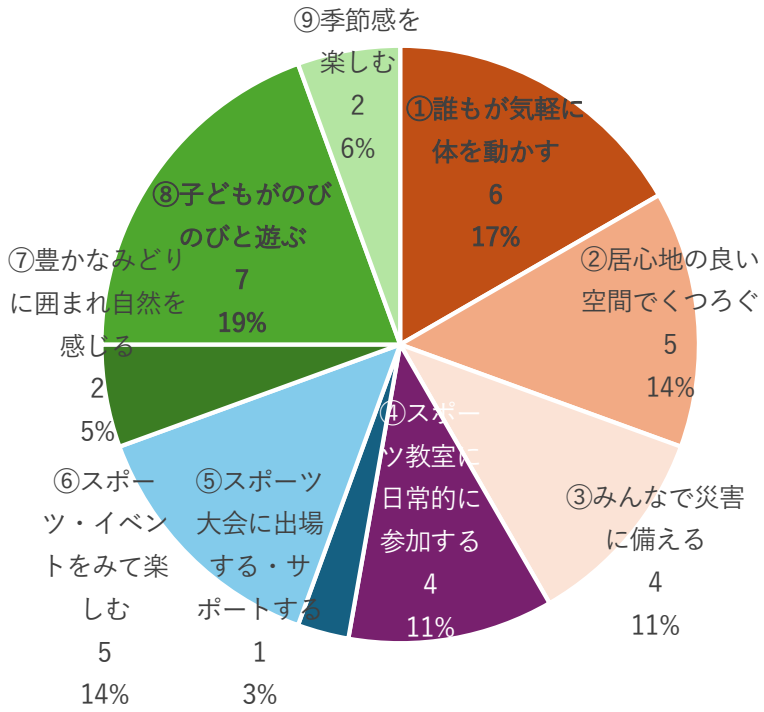




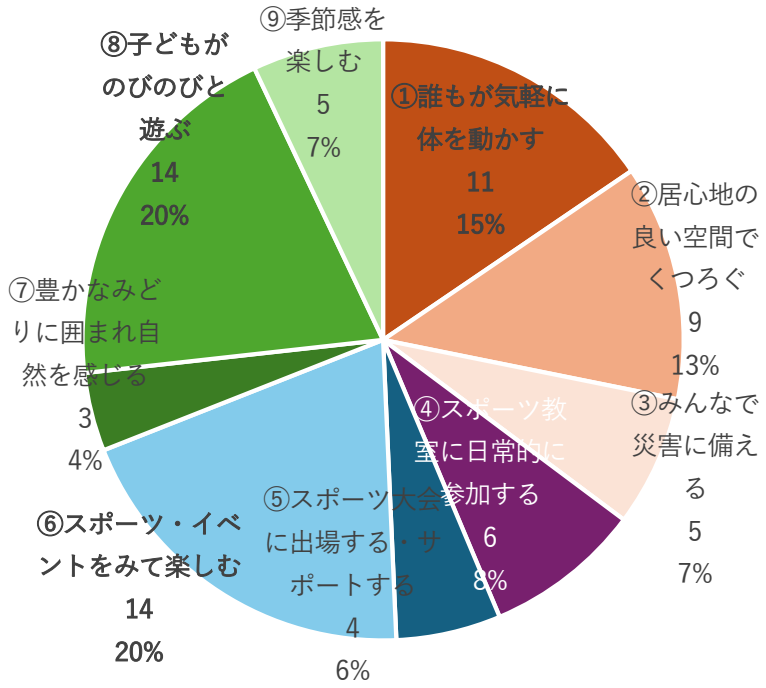
追加意見収集　結果まとめ（2/14）

2/14の結果　947枚のシールのうち、10代以下71枚の結果をみると「**①誰もが気軽に体を動かす**」と「**⑧子どもがのびのびと遊ぶ**」が市内外ともに多かった。
ウィッシュツリーに貼られた全世代の付箋の内容を見ると、**すべての人が気軽に集い、楽しめる場所**への期待感が寄せられました。**みどりや四季の自然を感じられる場所**で、**子どもが安全に遊べる**だけでなく、ペットと過ごしたりキャンプができる**多機能な憩いの場としての充実**への声が聞かれました。また、みんなで使える体育館を拠点に、ラグビー等のプロスポーツ観戦やコンサートなど**のイベントを開催できる会場としての機能**へのご意見もありました。
さらに、災害に対応できる場所としての安全性や、広い駐車場、気候に関係なく快適に過ごせる利便性を求める声も多く、日常のゆっくり、のんびりとした時間と、スポーツ等による活気への両方のご意見をいただきました。

市内



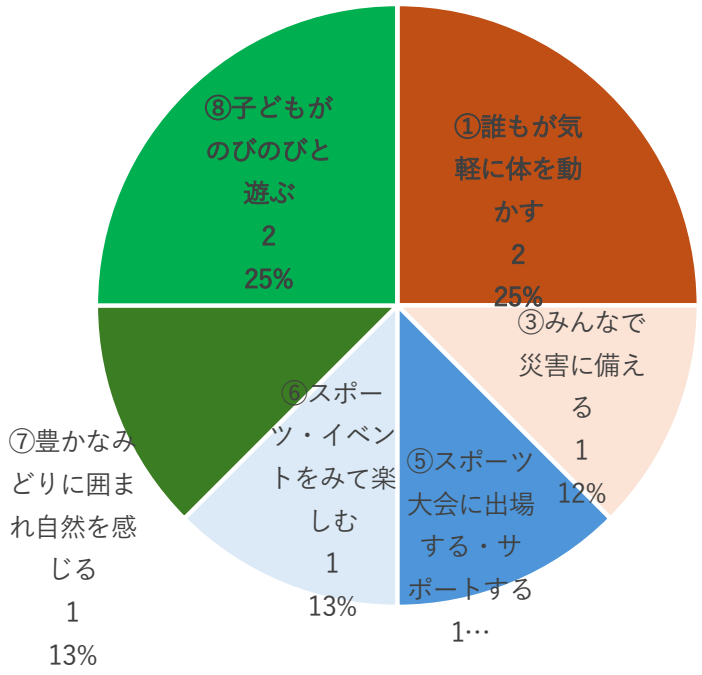
市外



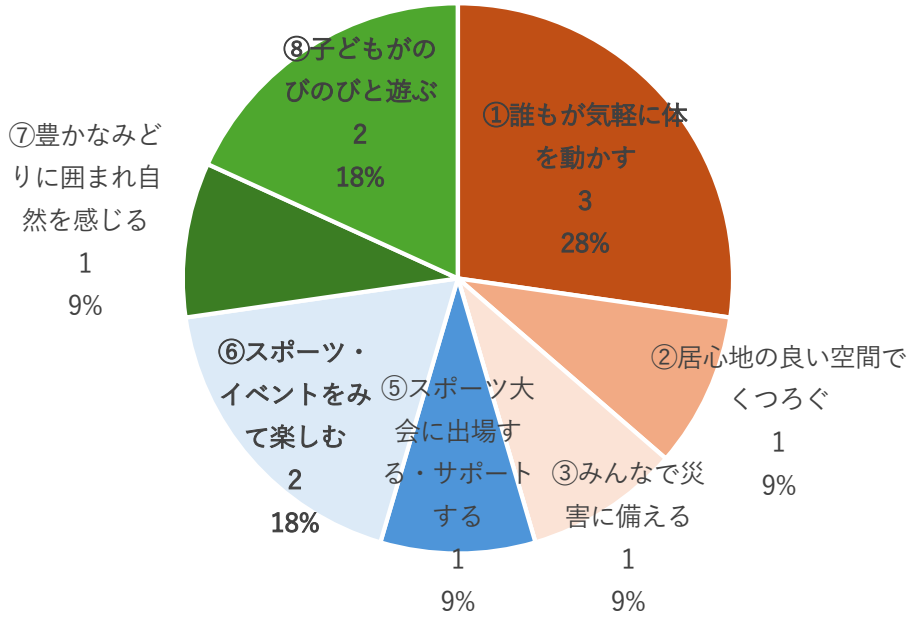
追加意見収集　結果まとめ（2/21）

2/21の結果 回答者数は26名で、貼られたシールの割合を見ると、10代以下11枚の結果をみると「**①誰もが気軽に体を動かす**」と「**⑧子どもがのびのびと遊ぶ**」が市内外ともに多く市外ではこれに「スポーツ・イベントを見て楽しむ」も同数（2枚）だった。
ウィッシュツリーに貼られた全世代の付箋の内容を見ると、20万人都市にふさわしい立派な公園と、駅近の利点を活かした拠点づくりへの期待が寄せられた。公園への要望としては、季節を感じられる空間で、散歩やランニングを楽しんだり、芝の上でのんびりと休める場所への希望が聞かれた。また、遊具がたくさんある環境でこどもと大人が一緒に楽しめる公園にしたいという、家族のふれあいを重視する声も挙げられた。施設や活用面では、駅から近い体育館の刷新を望む声とともに、パブリックビューイングや選手とふれあえるイベントの開催が、南口のにぎわいやスポーツのまちの具現化につながることへのご意見が寄せられた。誰もが楽しく面白くつかえる、安心・安全の場所として、挙げられたご意見すべてが実現すると良いといった声も聞かれた。

市内



市外

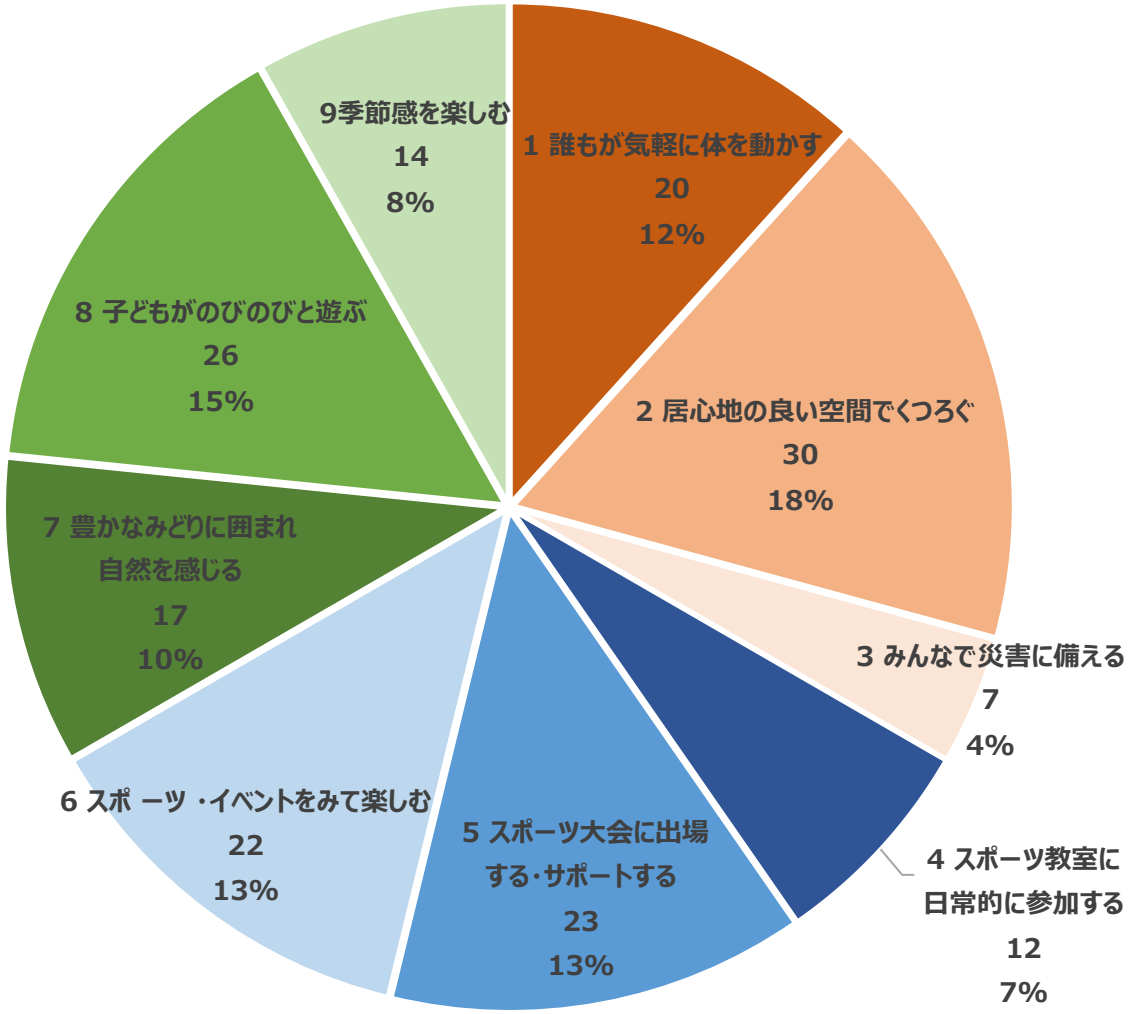


追加意見収集　結果まとめ（2～3月）

中学生ボランティアアンケートは、荒川中学校、三尻小学校、大麻生中学校、富士見中学校、玉井中学校の5校のボランティア説明会に参加した学生を対象に実施し、 回答者数は57名だった。

【5校の回答総計】
全体では「居心地の良い空間でくつろぐ」が最も多かった。
市民体育館での過ごし方を想定した設問で**は「スポーツ大会に出場する・サポートする」「スポーツ・イベントをみて楽しむ」がほぼ同数だった。**
荒川公園での過ごし方を想定した設問では**「子どもがのびのびと遊ぶ」が最も多かった。**

1 誰もが気軽に体を動かす	20
2 居心地の良い空間でくつろぐ	**30**
3 みんなで災害に備える	7
4 スポーツ教室に日常的に参加する	12
5 スポーツ大会に出場する・サポートする	**23**
6 スポーツ ・イベントをみて楽しむ	**22**
7 豊かなみどりに囲まれ自然を感じる	17
8 子どもがのびのびと遊ぶ	**26**
9 季節感を楽しむ	14



追加意見収集　結果まとめ（２~3月）

将来の「荒川公園」がどうなってほしいですか?「こうやって過ごしたい」、「こうなったらいいな」という希望など、何でもお書きください。

○誰もが気軽に楽しく過ごせるところになってほしい
○子どもからお年寄りまで幅広い世代で楽しめる公園になると良い
○遊具やスポーツのための設備を充実させてほしい
○自然を感じられてくつろげるところになったら良い
○花やイベントで季節を感じられるようにしてほしい
○清潔なところで楽しく遊びたい
○気軽に立ち寄りやすくなると良い
○ベンチを増やして休憩できるようにしてほしい
○気軽にスポーツができるところになってほしい
○ごみ箱を増やしてほしい
○イベントをしてほしい
○安心してのびのびと過ごせる環境にしてほしい
○ボール遊びによる道路への飛び出しを防いでほしい
○きれいな芝生でピクニックができると良い
○おいしい飲食店があると行きたくなる
○水飲み場があると良い
○マラソンができるようにしてほしい
○ペットの散歩道やドッグランがあると良い
○様々な人が交流できるところになってほしい
○好きなことができて居心地が良いところになってほしい
○汽車を残してほしい

誰もが気軽に楽しく過ごせる場所として、子どもからお年寄りまで幅広い世代が共生できる公園への期待が寄せられました。

追加意見収集　結果まとめ（２~3月）

将来の「市民体育館」がどうなってほしいですか?「こうやって過ごしたい」、「こうなったらいいな」という希望など、何でもお書きください。

○誰でも気軽に行けて運動できるところにしてほしい
○様々なスポーツができるようになると良い
○エアコンや床暖房での温度調整をしてほしい
○楽しく遊べて自由にくつろげる場所にしてほしい
○スポーツ観戦ができると良い
○設備を最新のものにしてほしい
○イスを増設したりトイレを広くきれいにしたりしてほしい
○スポーツができるきれいな施設を増やしてほしい
○イベントを開催してほしい
○居心地のよい広いアリーナがほしい
○勉強できるスペースがほしい
○自販機やごみ箱を設置してほしい
○フリーWi-Fiがほしい
○体育館で体育の授業ができるようになってほしい

誰でも気軽に行けて運動できるところへの要望が最も多く寄せられました。普段スポーツに馴染みのない人も含め、誰もがいつでも、簡単に体を動かせる開かれた雰囲気づくりへの期待が寄せられました。

追加意見収集　結果まとめ（2~3月）

将来の「荒川公園・市民体育館周辺のエリア全体」がどうなってほしいですか?
「こうやって過ごしたい」、「こうなったらいいな」という希望など、何でもお書きください。

○豊かな自然や季節感を感じられるようにしてほしい
○楽しく気軽に遊べるところになってほしい
○気軽に立ち寄りやすいところになってほしい
○ゆっくり落ち着いてくつろげるところになったら良い
○イベントや祭りができると良い
○こどもたちが安心して過ごせるところになってほしい
○きれいに整備してほしい
○ゆっくり散歩できるように歩きやすい道にしてほしい
○サッカーができる空間がほしい
○ごみ箱を設置してほしい
○安全に過ごせると良い
○気軽に行ける店がほしい

豊かな自然や季節感を身近に感じながら、誰もが楽しく気軽に立ち寄れる一体的な空間づくりへの期待が寄せられました。

アンケートにおける10～30代のニーズ

- 公園または体育館の利用ニーズ -

全ての世代の回答と同様に、木陰のデッキテラス、ベンチ、屋根のある空間、大きな芝生広場のニーズが比較的高い傾向

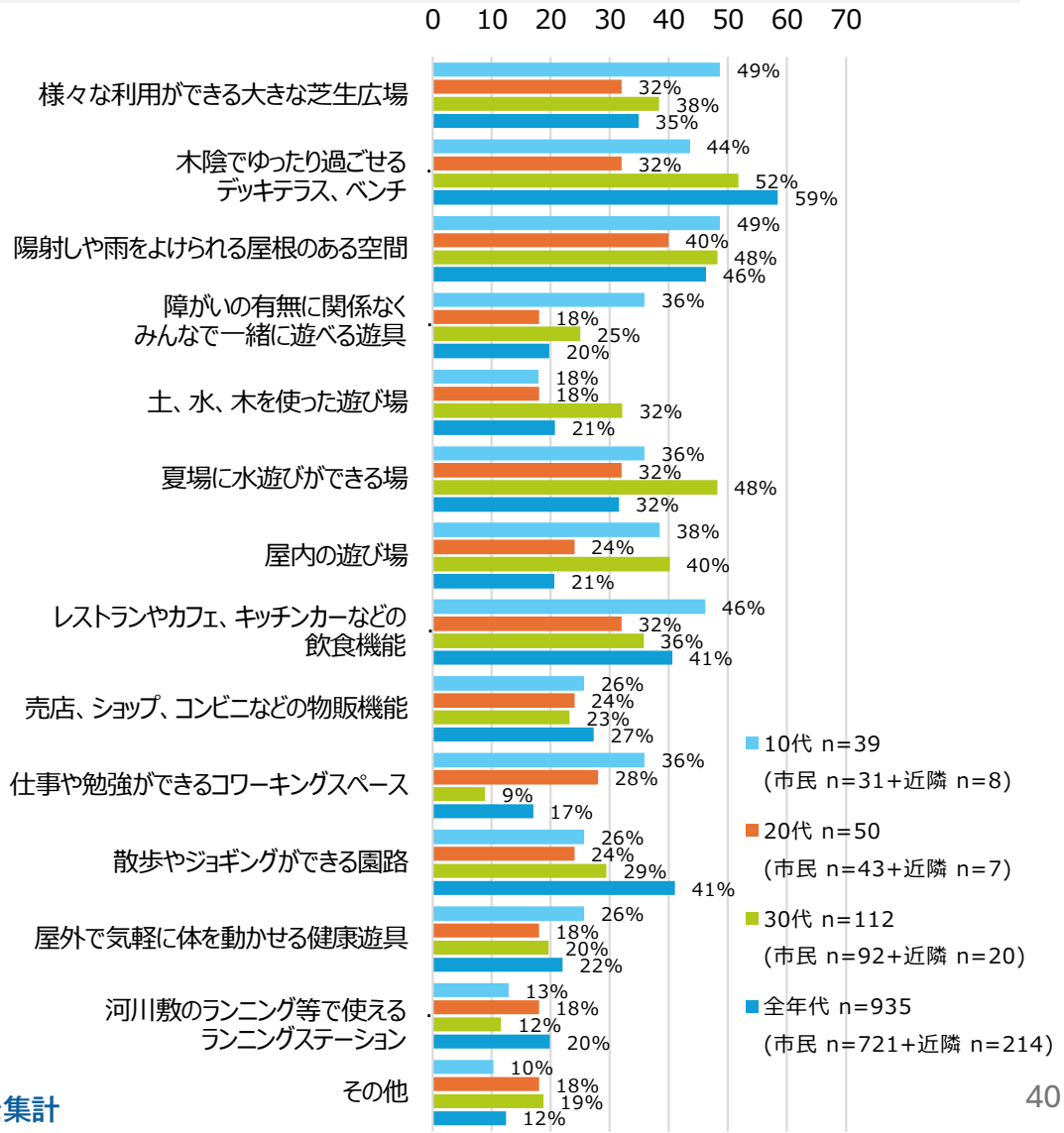
10代 飲食機能のニーズが特に高く、みんなで遊べる遊具や水遊び場、勉強ができるスペースへのニーズが高い傾向

20代 水遊び場、飲食機能、仕事や勉強ができるスペースのニーズが高い傾向

30代 子育て中の方が多いためか、水遊び場が特に高く、屋内の遊び場や土、水、木を使った遊び場のニーズが高く、飲食機能も高い傾向

※R7.7に実施した市民アンケート及び近隣住民アンケートの結果を集計

Q.新しい荒川公園や体育館にどのような機能や施設があれば利用してみたいと思いますか。



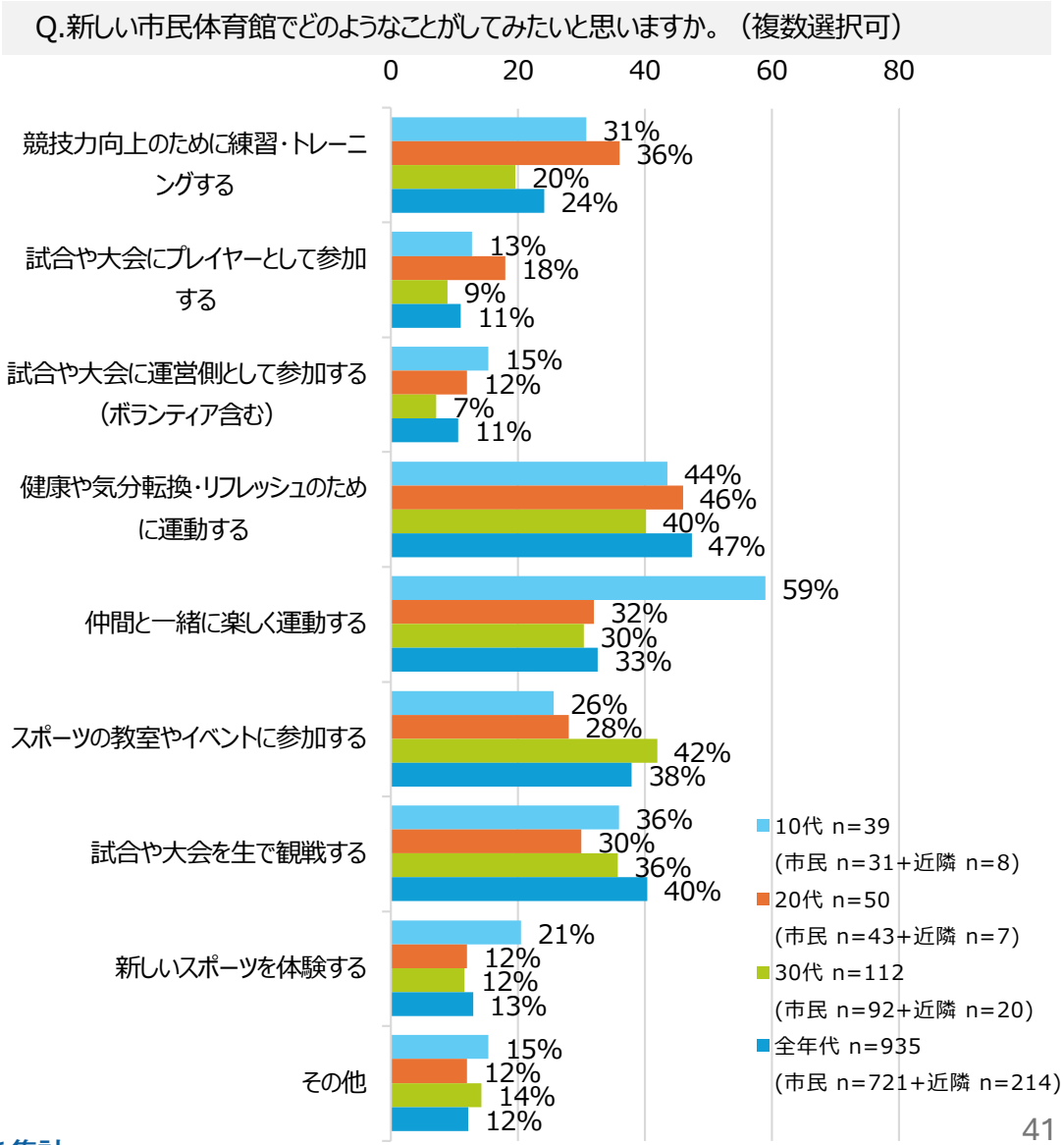
アンケートにおける10～30代のニーズ

- 体育館の利用ニーズ -

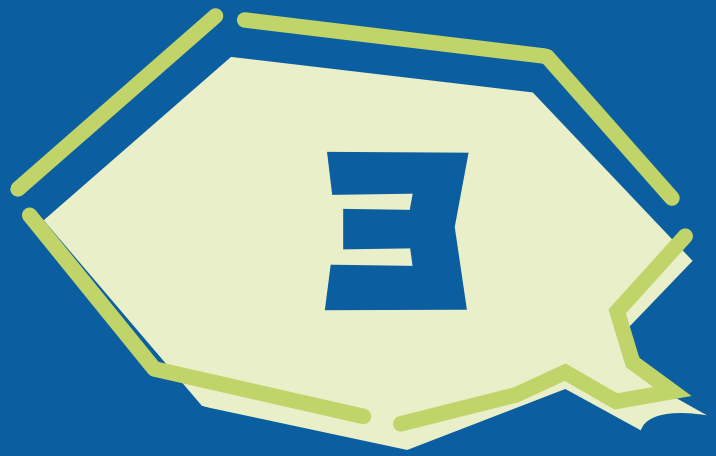
10代 **仲間と一緒に運動のニーズが特に高く、健康・気分転換・リフレッシュ、試合や大会観戦、練習・トレーニングも比較的高い**

20代 **健康・気分転換・リフレッシュが最も高く、他の世代よりも、練習・トレーニングのニーズが高い傾向**

30代 **スポーツ教室・イベント参加のニーズが最も高く、健康・気分転換・リフレッシュ、試合や大会観戦も比較的高い傾向**



※R7.7に実施した市民アンケート及び近隣住民アンケートの結果を集計



グループワーク

グループワークの進め方

これから、検討状況説明を踏まえて、意見交換を行います。

1 自己紹介　　10分

一人1分以内で、簡単に自己紹介しよう

・お名前
・所属団体（あれば）
・お住まいの地域

グループワークの進め方

2 意見交換：どんな価値を創造する場にしたい？ 40分

前回の意見交換結果から導いた**３つの価値**

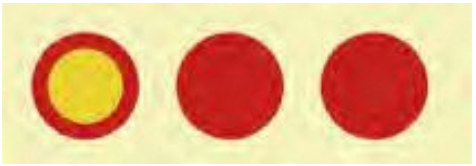
それぞれの視点で荒川公園・市民体育館一体が

どんな場を創造できるか、意見交換します。

３つの価値（柱）
①将来を担う、熊谷市のこどものための場にしよう
②地域が一体になり、まちの資源や取組との相乗効果を生み出す場にしよう
③自然災害、酷暑、防犯などの地域課題の解決につながる場にしよう

３つの価値について話終えたら、シール投票をしよう！

熊谷市ならではの視点、ここでしかできないことを
意識してシールを貼ろう



グループワークの進め方

ヨ ３つの価値を踏まえて生み出したいシーン、大切にしたいポイントを出し合おう 30分

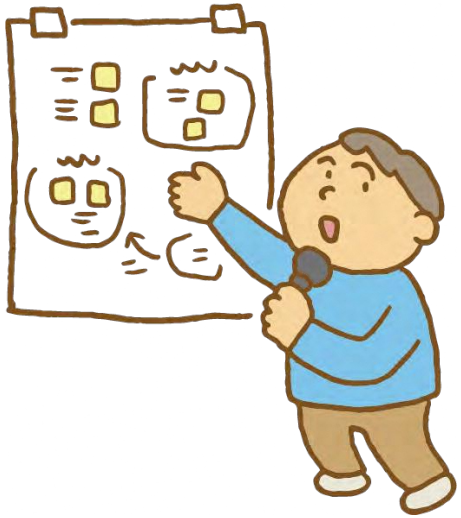
２）の３つの価値を創造する場についての
議論を踏まえ、改めて広域エリアマップと
整備条件、ポテンシャルの図を見ながら、
共通で大切にしたいことや、
ここで生み出したいシーンを出し合おう！

グループワークの進め方

4 今後具体案を決めていく上で大切な論点は？ 10分 ➡ 発表

これまでの議論を振り返り、今後具体案を決めていく上で大切にしたい論点を確認しよう





グループワーク
スタート！



発表・まとめ

発表

１グループ3分以内で共有しよう!

まとめ

事務連絡

ご参加いただき、
ありがとうございました！

次回のご案内

日時｜2026年7月4日（土）14:00～17:00
場所｜男女共同参画推進センター「ハートピア」
　　会議室